

令和6年度 第3回 名桜大学研究倫理審査委員会 議事要旨

1. 日 時：令和6年7月19日（金）16：30～18：00
2. 場 所：環太平洋地域文化研究所 研修会議室
3. 出席者：永田美和子委員長、大城凌子人間健康学部長、グレッグ美鈴看護学研究科長（博士後期課程）、花城和彦看護学研究科長（博士前期課程）、奥本正スポーツ健康科学研究科長（修士課程）、小嶋洋輔研究所長、木村安貴人間健康学部長、池原秀人事務局長、矢野恵美外部審査委員（国立大学法人琉球大学法科大学院教授）、満名悦子外部審査委員（沖縄県民生委員児童委員協議会理事）
4. 欠席者 仲尾次洋子国際学部長・国際学部長、嘉納英明国際文化研究科長（国際地域文化システム専攻修士・博士課程）
5. 陪 席 仲榮眞修地域連携研究推進課長、屋部藍華地域連携研究推進課係員、前里貴史地域連携研究推進課係員、比嘉真恵美地域連携研究推進課係員
6. 議事
議事に先立ち、永田委員長より定足数の確認がなされた後、開催宣言が行われた。

【審議事項】

(1) 研究倫理審査について

木村委員より、資料に基づき人間健康学部看護学科教員の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果、2024-007-1について承認となった。

永田委員長より、資料に基づき人間健康学部健康情報学科教員の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果2024-017について承認となった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-007-1	医療的ケアを要する在宅療養児とその家族の災害時支援への期待と懸念	令和6年5月20日	令和6年7月19日	承認
2024-017	「バイナッブルから単離した乳酸菌、Lactobacillus paracasei IkeMatsu -1 株を含む飲料の口腔内・腸内細菌叢への影響評価」	令和6年7月17日	令和6年7月19日	承認

(2) 学部生（看護学科）に係る研究倫理承認番号の付与について

木村委員より、資料に基づき人間健康学部看護学科生の研究計画書（2件）の審査について説明があり、審議の結果、2024-013、2024-014について承認番号を付与することが承認された。

委員より、2024-013について、研究倫理審査申請書の2.研究倫理研究会の最新受講歴を記載すること、研究責任者の名前を指導教員名にすること、共同研究者を削除すること、30 ページ、31 ページのアンケート調査への協力願い（依頼文書）のフォントについて、読みやすい字体に変更するよう指摘があった。

委員より、2024-014 について研究倫理審査申請書の 2.研究倫理研究会の最新受講歴を記載すること、研究責任者の名前を指導教員名にすること、共同研究者を削除すること、10 ページ、〈データ解析方法〉Mann-WhitneyU 検定に修正すること、19 ページの学部長への依頼文書が、〈協力願いの内容〉のところを〈協力していただきたい内容〉へ修正すること、24 ページの研究協力者への（依頼文書）のフォント（字体）について、読みやすい字体に変更すること、8 ページのアンケート A-5、A-6、A-7、A-8、A-9 が入試形態や奨学金についての質問内容が、受援力とメンタルヘルスト、研究との関連性を確認し、再考すること、必要がある場合には、その根拠を示すこと、また、P28○推薦または AO 入試と記載ありますが、現在 AO 入試は行われていないので、総合選抜等に修正すること、メールアドレスは、個人のメールアドレスではなく、公である大学のメールアドレスがよいとの指摘があった。

大城委員より、資料に基づき人間健康学部看護学科生の研究計画書(1 件)の審査について説明があり、2024-015 について、承認番号を付与することが確認された。

委員より、2024-015 について、施設への依頼をする場合、インタビューの日時については、資料 1-2 【研究協力にあたり研究者がお約束すること】(2) で研究施設・協力者の都合に合わせる事が記載されているので、日時の調整をして業務時間内でインタビューをする場合には、業務や休養等（休憩等？）の連絡があった場合に、途中で中断することも可能であること等の修正を検討すること、依頼文書では様に統一をするよう指摘があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-013	看護学生における児童虐待の認識と新生児の発育・発達に関する知識の関連性	令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年 7 月 19 日	承認
2024-014	大学生の受援力とメンタルヘルスの関係 — 日常的に SOS を出すことで自殺予防につながるのか —	令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年 7 月 19 日	承認
2024-015	化学療法を受けているがん患者の倦怠感に対して運動療法の導入支援とその困難 ～がん化学療法看護認定看護師を対象とした質的研究～	令和 6 年 7 月 8 日	令和 6 年 7 月 19 日	承認

(3) 令和 6 年度大学院生（看護学研究科博士前期課程）に係る研究計画の変更について

花城委員より、資料に基づき看護学研究科博士前期課程大学院生の研究計画書(1 件)の審査について説明があり、2024-016 について承認となった。

委員より、研究課題名の中で離島がん患者とあるが、離島がん患者の表記について検討をすること、資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3、資料 1-4、資料 1-5 の依頼文書の〈ご協力いただきたいこと〉のところで、研究対象者①②両方の条件を満たすことがわかるような記載をするよう指摘があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-016	沖縄本島で化学療法を受けている離島がん患者の重症化予防の支援の実施状況とその関連要因～病棟看護師を対象とした質問紙調査～	令和6年7月17日	令和6年7月19日	承認

【報告事項】

(1) 審査申請状況について

地域連携研究推進課より、資料に基づき報告がされた。

- ・国際学部審査部会研究倫理審査 審査状況
(7月) 審査部会審査1件(結果:条件付承認1件)
- ・人間健康学部審査部会研究倫理審査 審査状況
(6月) 審査部会審査1件(結果:承認1件)
(7月) 審査部会審査1件(結果:条件付承認)、迅速審査1件(結果:承認)

【その他】

(1) 令和6年度第2回研究倫理審査委員会議事要旨について

令和6年度第2回研究倫理審査委員会議事要旨について承認がされた。

※迅速審査の手続きについて、永田委員長より、これまで委員長、両部会長から承認を得て全学倫理審査委員会で審議し承認後研究を進めているが、迅速審査が増える可能性があり、全学倫理審査委員会で審議をすると、迅速審査の意味がないため、今後は迅速審査で承認が得られた場合は、全学倫理審査で報告というかたちで進めたい旨の意見があり、承認がされた。

※以前に承認番号を付与された研究で、研究タイトルの変更もなく、軽微な計画書の変更等による迅速審査を受審された場合の承認番号の付与については、以前付与された番号を承認番号として使用することの確認がされた。また受付番号については、これまでどおり通し番号での管理を行うことが確認された。また、新規と記載しているが新規ではないため、記載方法を事務局で検討することとなった。